

サービス

Verizon、5Gによるゲーム体験の変革を模索

Verizonは、ゲーム開発者Hi-Rezとの提携を発表し、**ミッドバンドとミリ波を利用した5Gサービス「5G Ultra Wideband」**を使うゲームプレイヤーに対し、以下のメリットをもたらすと強調した。

- 高品質のゲームを**数秒でダウンロード**、または**ストリーミング**できる
 - 通常コンソールでしかプレイできないようなデータ通信量の多い**マルチプレイヤーゲーム**をスマホでプレイできる
 - **移動中**でも一瞬の途切れもなくゲームを楽しめる
- また、ロイヤルティプログラム「Verizon Up」の顧客は、Rouge Companyのゲーム内で使用できる武器ツールを無料で受け取ることができる他、先着3万人限定でEliteベータ版をプレイすることができる。

Verizonは、5G Ultra Widebandとゲームは、最適な組み合わせであると訴求し、**ゲーム分野での5Gに関する提携**を進めている。**7月にはMicrosoftと提携し、コンソールとゲームサブスクリプションを組み合わせた「Xbox All Access」**を一部Verizon店舗とオンラインにて販売を開始している。

シンガポールM1、海上5G AR/VRスマートグラスソリューションを実証

海運業界にソリューションを提供するKeppel O&Mは、M1と提携し、遠隔運航を目指す戦略の一環として、AR/VRスマートグラスソリューションの実証実験を開始した。**スマートグラスには、マイクロプロジェクター、カメラレンズ、マイク、マイクロスピーカー、モバイルまたはWi-Fi受信機能が搭載されている。**両社は、Keppel O&Mの業務効率化を目的として、以下の利用シナリオを試験する。

- 機器の性能やシステムのパラメータなどのライブデータをスマートグラスから制御室にストリーミングし、制御室からの分析結果や指示を現場の作業者がリアルタイムで受け取る
- **センサーデータを現場の作業者の視界に重ね合わせて表示する。**トラブルシューティングの際は、現場の作業者とオフィスの支援者が同じプラットフォームを用いて、機器の状況などを確認できる

5G SA (スタンドアロン)

Ericsson、NokiaとGoogle、Android 13端末で複数のネットワークスライス利用トライアルを実施

EricssonとNokiaは、それぞれURSP (User Equipment Route Selection Policy) 機能を通じて、**1台の端末による複数のネットワークスライスへの同時接続のデモ**をGoogleと実施したと発表した。

Nokiaによると、デモはAndroid 13を搭載したGoogle Pixel 6 Pro を用い、試験環境の4G、5G網において

行われた。Android 12でサポートされたネットワークスライス機能を拡張し、Android 13では、**最大5つのスライス**を利用できる。URSPのユースケースとして、Nokiaは、「安全で高性能なスライスを使用してビジネス上重要な情報を送信しながら、同時に別のスライスを使用してビデオ通話に参加することができる。また消費者は、クラウドゲームや高画質のビデオストリーミングなどのために、パーソナライズされたネットワークスライスサービスを受けることができる。」といった事例を挙げている。

豪Telstra、Ericssonと企業向けに今後提供予定のネットワークスライシングサービスを発表

Ericssonの発表によると、Telstraは**自動化された標準ベースのネットワークスライシングオーケストレーション機能を配備**した。これらの機能により、Telstraは、法人顧客に速度、遅延、耐性などのネットワーク特性を保証する潜在的な能力を備えたサービスを提供できるようになる。Telstraの幹部は、「以前は新たなサービスのネットワークへの構築、拡張に長い時間を要した。現在では、5Gのサービスベースアーキテクチャ (SBA) とネットワークオーケストレーションを通じた自動化を組み合わせることで、差別化されたサービスを顧客と迅速に検討、展開し、経済的に拡張できるようになった」と述べている。

豪Optus、5G SAを商用化

Optusは、顧客によるトライアルを含めた1年間のテストを経て、5G SAネットワークを立ち上げたを発表した。

同社は、**5G SAによりネットワークスライシング、クラウドオーケストレーション、エッジコンピューティング、ネットワークの自己修復が可能**になり、モバイル接続の機能が徐々に向上していくとしている。また5G SAでは、NSAによるネットワークより、広いエリアを提供する。

Optusは、**5G SAに最も期待する利点として、法人向けのEnd to Endネットワークスライシング**を挙げた。消費者向けには、低遅延のオンラインゲーム、AR、VRなどのXR体験が向上するとしている。消費者は、Samsung S22、OPPO X3などの対応端末で5G SIMを使用して5G SA網にアクセスできる。

5G その他

独Vodafone、4G網でのネットワークスライシング導入により、法人顧客に「ネットワーク保険」を提供

Vodafoneは、**5G SA対応端末の普及が限定的な状況を鑑みて、4Gでネットワークスライシングの提供を開始**した。同社はこれにより、物流、メディアなど多岐に渡る業界の顧客が、アプリケーションに必要なネットワーク容量を常に確保することができるとしている。

「Campus Flex Exclusive」プランを利用することで、法人顧客は、敷地内など特定の場所において一般ユーザーの利用に左右されず、常に専用の帯域を利用す

ることができる。料金は法人顧客のニーズに応じて設定される。

伊Vodafone、マクドナルド店舗に5Gとファイバー網を展開。IoT、AIなどを活用したコネクテッドレストランを実現

Vodafoneは、イタリアのマクドナルド**全640店舗において5Gと光ファイバーネットワークを構築**する契約をマクドナルド・イタリアと締結したと発表した。

同社は、SD-WAN（Software Defined-Wide Area Network）により、5Gと光ファイバーを組み合わせ、その時点で最も性能の良いネットワーク技術に基づいてサービスを提供できるように実装したと述べている。また、新規開店店舗などで光ファイバーがすぐに提供できない場合は、5Gでサポートできるとしている。今回の展開により、マクドナルド店舗は**24時間365日、どんな状況でも全店舗で事業継続することが保証**され、モバイルオーダー・決済・ピックアップ、セルフオーダー用キオスク、テーブルサービス、デジタルメニュー、顧客との関係管理（CRM）、アプリでのプロモーション、店内でのWi-Fiアクセスなどに対応することができるとしている。

6G

米国防総省、6G研究開発を行う新たなプロジェクトを開始

国防総省のInnovate Beyond 5G（IB5G）プログラムは、5Gと6Gに焦点を当てた産学連携の取り組みを推進する3つの新プロジェクトを始動したと発表した。

1. Open6G（資金調達額：177万ドル）
Open RANに関する6Gシステムの研究加速が目的。信頼できる拡張機能の開発、試験、構築のための国防総省のハブとして機能する。
2. Spectrum Exchange Security and Scalability（同164万ドル）
周波数共用技術と機械駆動型ネットワーク機能を推進する。**ブロックチェーンを活用し、安全で分散型の動的周波数割り当て**を行うネットワークアプライアンス「Spectrum Exchange」を構築予定。
3. **Massive MIMO**（同369万ドル）
無線による戦術通信のためのネットワーク耐性、スループット強化を目的としたMIMO（Multi-Input/Multi-Output）技術の拡張を実現する技術要素を研究する。

IB5Gプログラムディレクターは、本件の発表に際して、「国防総省は、5G、6G無線技術とコンセプトの実証に大きな関心を持っている。これらの取り組みは、将来の兵士のために高性能で、安全かつ耐障害性のあるネットワークを実現する目的に必要なBeyond 5G技術の研究開発に対する、官民連携による継続的な投資を示すもの」と述べている。